

社会資本総合整備計画

平成28年3月9日

計画の名称	荒川水循環センター上部利用計画事業			重点計画の該当	
計画の期間	平成26年度 ~ 平成29年度 (4年間)	交付対象	戸田市		
計画の目標					

○埼玉県が「彩の国アーバンアクア広場計画」に基づき整備を進めてきた、荒川左岸南部流域下水道終末処理場（荒川水循環センター）覆蓋上部の広いオープンスペースを有効活用し、将来にわたり市民に親しまれる施設として「戸田市荒川処理センター上部利用計画」を策定した。この上部利用計画に基づき、荒川水循環センター周辺の地元住民の意見・要望を取り入れた公園・緑地やレクリエーション施設の整備を進めていく。

計画の成果目標（定量的指標）

1. 公園利用者数を900人/月（一部分供用中のH25年度実績）から2,000人/月（全面供用後のH30年度実績）に増加

定量的指標の定義及び算定式

1. 本市で実施している現地調査において、公園利用者数を集計し算出する

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値					備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値			
	(H26当初)	(H27末)	(H30末)			
1. 本市で実施している現地調査において、公園利用者数を集計し算出する	900人/月		2,000人/月			

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	148百万円	A	148百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	--------------	--------	---	--------	---	---	---	---	---	---	--------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
A-1	公園	一般	戸田市	直接	戸田市	都市公園事業	公園整備 (総合公園A=31,642㎡)	戸田市						148	
合計												148			

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計												0			

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

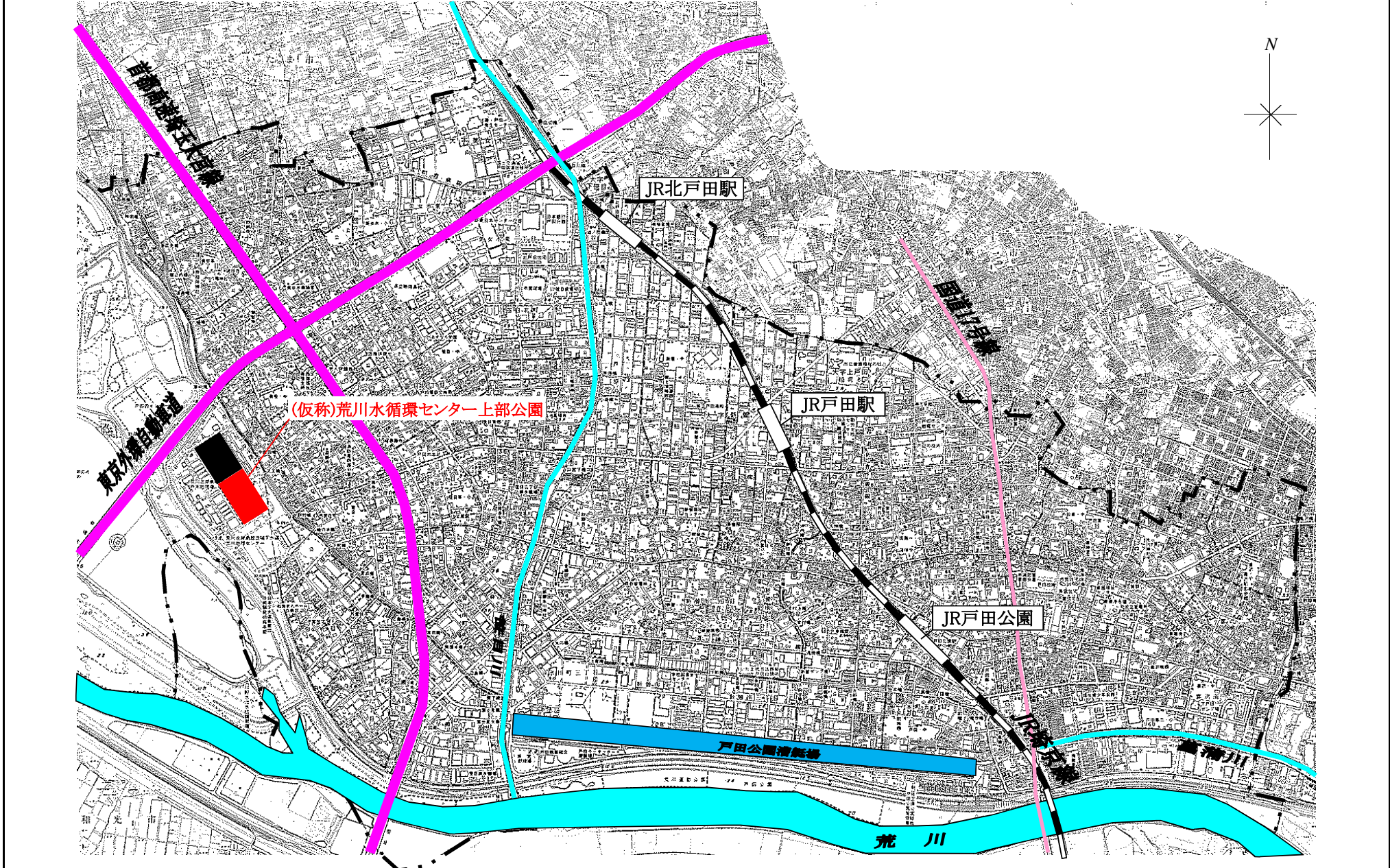
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	20	20			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	20	20			
前年度からの繰越額 (d)	20	0			
支払済額 (e)	40	20			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	-	-			

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

計画の名称	荒川水循環センター上部利用計画事業	交付対象	戸田市
計画の期間	平成26年度 ～ 平成29年度 (4年間)		



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 荒川水循環センター上部利用計画事業

事業主体名： 戸田市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
2)事業の必要性という観点から位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
④定量的指標の明瞭性	
1)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
⑤目標と事業内容の整合性等	
1)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
⑥事業の効果	
1)事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
2)事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○
⑧地元の協力	
1)事業実施に向け地元の協力がある。	○
2)継続的な事業展開が見込まれる。	○